

出張所職員による訪問調査を8月2日より明豆から開始して、現在11戸のお宅に訪問させていただきました。今回の訪問先は、平日に在宅の方をお願いしました。ありがとうございます。今後も、引き続き実施してまいりますのでご協力をお願いします。



明豆でのお話の中では

- ・猿が畑の農作物を食い荒らす。
- ・小学校があった時の村民運動会が楽しかった。
- ・鮎がたくさん獲れた。
- ・木材を筏にして、伊勢の大湊まで宮川を下った。
- ・トロッコで、山の上から木を運んだなど、今だけではなく昔のことも教えていただきました。

台風による暴風雨や前線影響による集中豪雨の時期になりました。避難所の確認と普段から、気象情報等には十分に注意し、非常持ち出し袋の準備をお願いします。

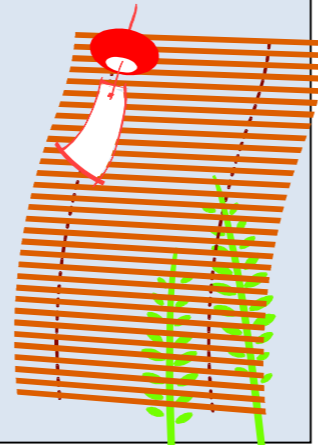
指定避難所	対象字名
明豆集会所	明豆
領内地域避難所	御棟・小滝・神滝・滝谷・大井
領内地域総合センター	御棟・小滝・神滝・滝谷・大井
南集会所	南
唐櫃集会所	唐櫃

熱中症の発症が全国的にも増加中！室内にいてもなることもありますのでご注意ください！！

予防が大事です。

- ・外では、日傘や帽子を使いましょう。
- ・水分をこまめにとり充分休息しましょう。（のどが渇くと感じる前に水分を！）
- ・立ちくらみ、めまい、吐き気、こむら返りがおこる
- ・大量の汗・体がぐったりして力が入らない
- ・ズキンズキンする頭痛

こんな症状にはご注意を



体に異変を感じたら

- ・まずは、涼しい場所へ・・・日陰やクーラーの効いた部屋へ。
- ・衣類をゆるめ、楽な姿勢でやすみましょう。
- ・スポーツドリンクなどを飲み水分を摂取しましょう。
- ・体にぬれタオルなどをかけるなど冷やしましょう。
- ・「水分をとれない」「気分が悪い」「意識がぼんやりしている」という場合は救急車を呼びましょう。

あとかき

訪問調査でお話をしていると、ふと、私が今の風景になれてしまっていることに気がきました。道は広くなり便利になったけれど、子供の頃には大きな木があった。あそこには四季折々たくさんの草花が咲いていたと、懐かしい風景が思い浮かびました。便利になったのはありがたいことですが、子供の頃の風景をたまには思い出す時間があっても良いのではと思いました。(久保)

領内出張所 だより

第3号

平成22年8月16日発行
領内出張所 77-2001

ryonai@odaitown.jp

残暑お見舞い申し上げます。

お盆には、ご家族や御親戚の方々とゆっくりされたのではないのでしょうか。

暑い日が続いておりますので、体調管理には十分にご注意ください。

さて今回は、領内で変わりゆく姿を特集させていただきました。

新宮川橋



現在、新宮川橋（御棟～唐櫃間）の架け替え工事が進んでおります。この橋が完成するまでは、上流の領内橋か川に丸太を二本ならべた「唐櫃橋」により対岸に渡ったそうです。



昭和32年に林道橋として完成
長さ75m 幅3.6m

4t規制後、現在に至り今回の架け替えとなりました。

平成21年10月26日より解体工事着工
同年6月には両岸に、ケーブルクレーンが設置されて新宮川橋は、撤去された。



平成24年3月31日頃完成予定
完成後は、長さ76m 幅4mとなります。



第2号からはじまった「ペンリレー」の2番手は、神滝在住の中川 宗夫さんに執筆をお願いしました。
領内に関する自然・歴史・思い出などを書いてみませんか、「領内出張所だより」に掲載させていただきます。
せひともご連絡をください。なお、本文は原文のまま掲載させていただきました。

「地域の宝」

先日、故地崎國太郎村長伝を読ませて頂き大変有難い事かと感じています。可成りの時がたっている事ですが、皆さん方に当時の村長様の領内村を憶うその心は、大変だったと推察いたします。それは便利にすることはもちろん、もっと早く伊勢の大湊に木材を運ぶことができないものかとの考え方から丈夫な領内橋より南、大井、春日谷の橋もコンクリートによって丈夫に作られたようで、将に「先見の明」であり感嘆の外ございません。宮川を運搬方法と考えている時にも、川を発破でわり水が流れやすくしたといわれています。現在の神滝の滝(南の滝ともいっ)は神滝側を割ったとはつきりと残っています。この様に将来への展望といつことを考えられ大工事に取りかかり成功した事実は、将に領内の宝と言っても過言ではないと思います。私達も、先人の御努力に学び、この地の発展の為に頑張りたいと強く思いをいたしたわけがあります。昔からの言葉に「なせばなる。ならぬ堪忍するが堪忍」「つまり「ならぬのぶ」ことにより成功する」。この考え方をもちて事に当たる事が大変大切なことである事を先人は教えてくれているのであります。この意識をもちて村づくりに当たれば必ず成功の道が開けると信じます。



私も日頃常々思うことがございます。この土地では働く場所といえば山仕事を中心であります。つまり自然界をつまく利用して生かせる事を考える事かと思いますが、この土地には大台ヶ原といった黒部にも優る好景色の場所がありますが、山を痛めなくて観光地にするため、大杉谷より大台ヶ原にロープウェイを作り多くの観光客を呼べば大変活気が出来るのではないかと、思っている次第です。大台町だけでは到底できないと思いますが、全体で中央に働きかけ応援して頂けるようになれば実現可能ではないでしょうか。先に述べました、「なせばなる。ならぬ堪忍するが堪忍」の時ではないでしょうか。必ず生き生きした大台町が出来るものと確信いたします。

中川 宗夫

南地内から見た滝